

平成21年度第1回 京都市自転車等駐車対策協議会 摘録

- 1 日 時 平成21年6月17日（水）午前10時から12時
- 2 場 所 京都市右京区役所第1大会議室
- 3 出席者 別紙のとおり
- 4 内 容

（1）開会あいさつ

（2）由木副市長あいさつ

（3）資料確認，協議会公開の確認，傍聴者への留意事項の説明

（4）北村前会長の功績に対して黙祷

（5）会長の互選

委員からの推薦により，塚口委員を会長に選出

（6）委員の紹介，事務局紹介

（7）定足数確認

【事務局】

本協議会の委員数29名のうち，現時点で24名の出席（最終26名）があり，委員の過半数を超えることから，「京都市自転車等放置防止条例施行規則」第13条第3項の規定に基づき，本日の会議が有効に成立することを確認する。

（8）協議会への諮問

【由木副市長】

京都市自転車総合計画の改訂について，本協議会の意見を「新・京都市自転車総合計画（仮称）（案）」として，平成22年2月28日までに示すことを諮問する。

【塚口会長】

謹んでお受けし，今後の京都市の自転車等に関する諸施策を総合的に推進するために協議する。

（9）議題：改訂自転車総合計画について

【事務局】

資料説明

【塚口会長】

どのような視点でも結構なので，意見をいただきたい。

【長島委員】

身体障害者の立場から，足が不自由な人でも自転車に乗って駐輪場を利用する。しかし，駐輪場

から目的地までの徒歩での移動が難しい。そのため、身体障害者に対しては、目的地の前等に駐輪することを認めることはできないだろうか。

【事務局】

身体障害者に目的地の前等への駐輪を認めた場合、その自転車が別の身体障害者の障害物になるため、認めることは難しい。

本市としては、小規模分散型の駐輪場整備に取り組んでおり、民間駐輪場の整備にも助成する制度がある。市民の方に利用しやすい環境を整備しており、今後も取り組んでいきたい。

【高田委員】

西京極駐輪場のように稼働率が低い駐輪場に対して、市はどのような対策を考えているのか。

また、路上に駐輪することは問題であり、小規模な駐輪場を整備したり、2時間無料で利用できる駐輪場の整備をしてはどうか。

【事務局】

西京極駅は、周辺に多くの自転車が放置されている。西京極駐輪場は駅から少し離れている位置にあるが、駐輪場に停めさせるよう利用者のマナーの啓発等が必要な駅であると認識している。

現在、駐輪場の利用実態調査等も行っており、今後、地域実情を把握し、どのような施策が有効か検討したい。

また、駐輪場ごとに分類して料金体系を改訂することを検討している。短時間無料の駐輪場についても、その中で検討していきたい。

【塚口会長】

資料2の3頁と4頁の「5 総合計画の位置付け」が事務局側からの視点でまとめられており、市民が見た場合、難解である。自転車総合計画は、本市自転車施策のマスタープランとして位置づけるものの、主体的に検討するのはその一部というのは矛盾しているように思える。市民にとって、わかりやすい表現に修正し、自転車総合計画の施策内容等を理解してもらうことが重要である。

【事務局】

根拠法である「自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律」(以下「自転車法」という。)では、自転車総合計画は自転車の駐車対策に関する計画である。

本市の自転車総合計画では、駐車対策に加え、走行環境や利用マナー等、自転車に関する事項を総合的に取り組むこととし、各種の施策を推進している。

最近では、走行環境や走行マナーに関する市民のニーズが高まっていることから、新総合計画においても、法律上では駐輪対策であるが、市民の利用ニーズに対応できる計画としたい。

【上村委員】

全国的に見て京都市の取組は不十分であると思う。自転車の利用マナーと駐輪場整備の両方が重要であるが、特に駐輪場の整備が不十分である。

高松市では、駅前に地下の駐輪場があり、またレンタサイクルの利用料金も100円と安い。百貨店にも地下に駐輪場が整備されている。京都市では、観光客がレンタサイクルを利用できる状況になっていない。地下鉄くいな橋や京阪電車の稲荷駅では、放置自転車の撤去はされるのに、自転車を駐車できる場所がない。

また、京都市の自転車シェアリングは、どのように考えているのか。

【事務局】

各駅においては、鉄道事業者と連携して駐輪場整備を進めている。今後も駐輪場の整備は、必要

であると理解しており、今後も新たな駐輪場の整備に取り組んでいきたい。

料金体系についても、できる限り早い段階で、利用者にあった料金体系を検討したい。

自転車シェアリングについては、把握しているものでは民間38箇所でレンタサイクルを実施しており、今後も民間事業者への支援を考えていきたい。例えば、大学と連携したレンタサイクル等も検討していきたいと考えている。

【井原委員】

現在、西院駅では放置対策のキャンペーンを行っており、地域の人と警察等が協力して、マナー啓発や撤去を行っている。期間中は、放置自転車が減るものの、キャンペーン期間を終えた後の効果を見たいと考えている。

イタチごっこになっている現状があるが、行政として、放置自転車の解決をどのように考えているのか。

【事務局】

西院駅については、警察、住民、行政等が入って協議会を運営している。現状の駐輪場の規模や位置では対応できていない状況があるため、今後も駐輪場の整備が必要であると考えている。

民間駐輪場整備の助成金に対しても、西院地域から申請が出ているところであり、これらの制度を活用して支援していきたいと考えている。放置自転車の撤去・啓発活動がすべてを解決するものではないが、継続的に撤去・啓発活動を行うことが放置自転車を減らしていく方策であると考えている。

【塚口会長】

放置自転車問題は、行政だけでなく利用者の問題であり、行政と市民が一緒に考えていくことが重要である。そのためには、エンジニアリング、エディケーション、エクспанションの3Eを進める必要があり、地道にやっていく必要がある。

最近では、モビリティマジメント（MM）という言葉をよく耳にするが、このような自発的に意識を変えさせる教育に、地道に取り組んでいく必要がある。

【石野委員】

放置自転車の対策としては、自転車の駐輪場の整備が最優先であり、駐輪場を確保した上で撤去活動である。その上で自転車利用者のマナーが重要である。

私は店を経営しているが、自分の店の前に平気で駐輪してどこかに行く人がいる。他人に迷惑をかけていることがわかっていない。

新京極商店街の商業施設の南側の広場に、「ろっくんプラザ」という駐輪場を整備したが、5月で約250件の不正駐輪があった。

京都の大学生の間では、先輩から後輩に自転車を撤去されない場所の情報が伝えられているという話を聞いた。マナーが欠落している。

また、民間では、まちなかに駐車できる場所がないのに、レンタサイクルを貸し出すことにも問題がある。

【中田委員】

私の子どもは、駐輪場を利用することで、自転車を大事にすることや管理人の方とのあいさつ等の人間関係を覚える機会をいただいたと感じている。自転車のマナーについては、家庭を通じた教育が重要ではないか。

若者の集まるコンビニエンスストア等の放置自転車の多い店への対策が必要である。

また、全盲の人は、後ろから音もなく走ってくる自転車が一番怖い。

【塚口会長】

貴重な御意見をいただいた。他に発言したい委員もいるかと思うが、時間も限られており次に進めさせていただき、最後に再度、御意見をいただくことにする。

(10) 議題：調査計画とスケジュールについて

【事務局】

資料説明

【大賀委員】

アンケート調査は高校生以上としているが、小中学校の生徒も対象にしてはどうか。

【事務局】

教育委員会やPTAと相談して検討し、調査対象を再検討する。

【塚口会長】

幅広く意見を聞くことは良いことであり、調査対象と方法を検討していただきたい。

【前田委員】

弊社では、三条駅や祇園四条駅で駐輪場を整備している。この駐輪場には原動機付自転車も駐車できる。しかし、50cc超のバイクの駐車がが多い。

京都市として、50cc超のバイクの駐車場の整備をどのように考えているのか。

また、アンケート調査は意向の把握だけであるが、モビリティマネジメント(MM)の教育からの視点も入れて、自転車利用のマナー啓発等も取り組んではどうか。

【事務局】

現在でも駐輪場においては、50cc超のバイクを駐車できる駐輪場では対応しているが、50cc超のバイク利用ニーズは多様化しており、駐車場法の駐車場と連携して取り組んでいきたい。

アンケート調査の対象を小中学生とすることと、調査内容にMMの視点を入れるかどうかについては、事務局で再度検討する。

【塚口会長】

自転車と自動二輪の利用において機能差がある。自動二輪は単独トリップ(自宅から目的地まで直接行く)、自転車は駅のアクセス・イグレスの利用手段として使われている等、データがあれば分析し、整理することも検討してほしい。

【丸毛委員】

低炭素のまちづくりや自転車が似合うまち京都等を考えていく時期にきている。やさしい自転車が歩行者には危険なものになる場合もあり、マナーの問題が重要である。このようなことを計画に盛り込む必要がある。特に、やさしいまちとしてどのようにしていくのかを考えていく必要がある。

【塚口会長】

自転車をうまく使っていくことが必要である。

【西本委員】

エコの観点から自転車の利用を進めているが、駐輪場やマナーの問題がある。

10年前との違いは、企業の環境の取組が拡大しており、事業を通じて利用者マナーの啓発に取り組んでいる。

事業者のアンケート調査等があれば、当フォーラムには500社ほど登録しているので、協力する。

【李委員】

私は大学生であるが、放置自転車に対しては、ハード整備とソフト対策の両面が必要である。学生として、京都市は学生数が多いことを逆に利用して、新入生を対象に自転車やバイクのマナーの教育をすれば、効果があるのではないか。

【石野委員】

自転車を駐車したら料金がかかることの意識付けが必要である。クルマは路上駐車には罰金があり、自転車の利用者の意識を変えていく必要がある。

【中田委員】

大学で自転車に関することを学んでいる学生が、社会に出ても学生時代のことを忘れずに継続的に考えていくことがマナーの啓発になる。

【九後委員】

市民に対するアンケート調査では、駐輪場の利用実態に関する設問は一般的な駐輪場に対する意見が出てくると思うので、小規模な駐輪場の短時間での利用実態やレンタサイクルの利用形態についても意見も伺えかどうか。

【塚口会長】

委員のみなさん、様々な御意見をありがとうございます。本日の発言は、事務局の方で整理し、検討してもらいたい。

(11) 報告：自転車京都・街角セッションからの提言の報告

【事務局】

資料説明

(12) その他

特になし

(13) 閉会あいさつ

以上

京都市自転車等駐車対策協議会委員名簿

(敬称略, 五十音順)

氏名	役職等	出欠
秋田 和子	京都市老人クラブ連合会理事	出席
石野 猛	京都商店連盟理事	出席
伊豆田 富美子	京都市地域女性連合会常任委員	出席
井原 秀隆	京都サイクリング協会理事長	出席
井料田 信孝	京都府府民生活部安心・安全まちづくり推進課長	出席
上村 憲子	公募委員	出席
大賀 洋子	京都市立中学校 PTA 連絡協議会副会長	出席
大橋 弘司	京都百貨店協会事務局長	出席
岡本 光司	京福電気鉄道株式会社常務取締役鉄道部長	欠席
川村 猛	京都府警察本部交通部交通規制課長	宿利代理出席
北富 洋二	京都商工会議所理事・産業振興部長	荻野代理出席
九後 順子	阪急電鉄株式会社都市交通事業本部都市交通計画部調査役	出席
見坂 茂範	国土交通省近畿地方整備局京都国道事務所長	出席
高田 艶子	コンシューマーズ京都(京都消団連)副理事長	出席
田中 健介	東海旅客鉄道株式会社新幹線京都駅総務科長	出席
丹司 透	叡山電鉄株式会社常務取締役総務部長	出席
塚口 博司	立命館大学教授	出席
土田 稔	京都市交通局高速鉄道部営業課長	山岡代理出席
長島 伊津子	京都市肢体障害者協会役員	出席
中田 壽子	京都府視覚障害者協会理事	出席
西本 雅則	京のアジェンダ21フォーラム事務局長	出席
春名 幸一	西日本旅客鉄道株式会社京都支社企画課長	井入代理出席
古川 孝助	京都府自転車軽自動車商協同組合理事長	欠席
前田 勝	京阪電気鉄道株式会社鉄道企画部課長	出席
槇山 雅史	近畿日本鉄道株式会社鉄道事業本部企画統括部計画部長	欠席
丸毛 静雄	株式会社京都新聞社論説委員長	出席
溝口 侑	公募委員	出席
村山 守	京都府警察本部交通部駐車対策課長	山内代理出席
李 利奈	公募委員	出席